

平成26年6月25日

## 8校区の検討状況を受けての岬小建設地の今後の考え方

田原市教育委員会

岬地区の学校再編につきましては、昨年10月に皆様の要望を受け、和地小・堀切小・伊良湖小を統合し、平成27年度に新たに「伊良湖岬小」がスタートすることになりました。その開校に向け現在、統合準備委員会において精力的に協議いただいております。

さて平成32年度新設の小学校の設置場所については、総合体育館周辺と岬中跡地との比較や、岬中での岬小との共存案などを議論してきたところです。昨年7月に、岬中を含む渥美の中学校のあり方につき、渥美8校区の場で協議したいとの申し入れがありました。その結果が明確にならない中で、岬小統合準備委員会での設置場所の議論は膠着状態になっております。

この6月10日、渥美8校区から「中学校再編について統一的な方向に至らない」との報告が出されました。この中では「渥美の中学は福江中か新設中で一本にするのがよいのでは」との意見が多く、また「岬中の移転時期、移転場所は岬3校区で判断されたい」、「教育委員会からたたき台を出されたい」などの考えも示されました。

こうした8校区の報告と統合準備委員会での議論を踏まえ、教育委員会としては学校再編の緊急性を重視し、以下のように岬小及び岬中についての今後の考え方を示すものです。

## ＜今後の考え方＞

- (1) 新設の伊良湖岬小学校は、伊良湖岬中学校跡地に新校舎を建設し、予定どおり平成32年度に和地から移転する。

## ＜理由＞

- ① 岬中が他校へ移転することで、その跡地にフルセット（校舎・運動場・体育館・プール）の岬小の校舎建設が可能となる。
- ② 南に面し日当たりがよく、北に山があり北西風を防ぐことができる。
- ③ 岬小の建設候補地は小塩津集落に隣接し、海拔も21m（総合体育館周辺は17m）と高く、防犯・防災面からも安心できる。また岬3校区の中心的なところに位置している。
- ④ 関係する地権者が少なく、用地買収の手続きの長期化を防ぐことができる。

- (2) 伊良湖岬中学校の統合先については、和地での一年間の共同の学校生活を経て判断することとし、平成27年度末に地元の意見を踏まえ教育委員会で決定する。岬中は平成30年度に他校に統合する。

（統合先案／① 福江中 ② 赤羽根中 ③ 福江中又は赤羽根中）

## ＜理由＞

- ① 少子化で、特に生徒数の減少に歯止めがかからない岬中については、他校への統合が緊急の課題となっている。（ここ数年の出生者は毎年20人前後）
- ② 統合先の議論に、平成27年度末まで一定の時間をかけることが出来、子ども・保護者などそれぞれの体験を踏まえた上での地元の意見が反映される。